



とう こん
島 魂

～Kuroshima's pride～



低学年（1～3年生）、校外学習に行ってきました！

本校は、「義務教育学校だからこそ」「極小規模校だからこそ全員で」「黒島だからこそ」できる特色ある活動を大切にしています。しかし、逆に「黒島」を出ないと体験できないものもあります。

多人数の集団で学習する機会や信号や交通ルールの実践的学習、黒島にない図書館や美術館施設の見学等です。これらを発達段階に

応じて、定期的に継続して、校外学習という形で実施しています。13日（金）は、低学年（1～3年生）が、その校外学習に出かけました。遊具等が充実している公園（きららパーク）、佐世保市立図書館、交通公園、島瀬美術センターの見学をしました。

最初にたくさんの遊具があるきららパークで思い切り遊び、その後、市立図書館へ移動しました。黒島から来たということで熱烈的な歓迎を受けました。交通公園では、交通安全指導や歩行訓練、ゴーカートにも乗ることができました。美術館の絵画展や常設展の昔の人の暮らしの見学もでき充実した一日となりました。今後、大規模校訪問等、黒島では経験できないことについても充実していきたいと思います。



佐世保市少年の主張大会 長崎新聞社賞受賞！

14日（土）、コミュニティセンターにおいて、市内28校（聖和・北中含む）の学校代表が一堂に集い、中学生なりの視点で身近に起こったこと、社会のことを捉え、思ったこと・考えたこと・感じたことを主張しました。

本校は、9年生の古里七海さんが学校代表として出場しました。6月1日の校内弁論大会を経て、七海さんは2年連続の出場でした。2年連続なので、会場の雰囲気も分かっているだろうし、昨年より緊張もしないだろうと思っていました。だから

こそ、安易に「昨年の経験があるから大丈夫。頑張ってね。」と声かけをしました。そういう声かけ、周りの期待で昨年以上に緊張しているようでした。それこそ、失敗しないようにと必死な思いがひしひしと伝わってきました。よく頑張りました。これで、本校は、10名に満たない（後期課程）人数ながら、3年連続の入賞となりました。これは、前期課程の低学年から、保護者や地域の方々の前で、詩の暗唱や群読を発表し、後期課程では、全員が弁論に挑戦した成果だと思います。そして、誰が代表でも恥ずかしくないほど子供たちは応えてくれています。それが本校の伝統だと感じています。

七海さんは、やっと右の集合写真を撮る時に笑みがこぼれました。プレッシャーから解放されてほっとしたのでしょう。こんな子供たちだからこそ、人数がすくなくとも、その頑張りで皆を感動させることができるのでしょう。

